

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成28年9月29日（木）午後6時30分～8時15分  
 【会 場】栄町コミュニティセンター  
 【対象地域】栄町・若葉町・幸町  
 【出席者】39人

| 担当部   | 意見・要望などの要旨   | 回答の要旨   |
|-------|--|---|
| 総務部   | <p>昨年話をしたが、栄町公園にあった危険水位看板が、栄町コミセンに移動しているが、何か意味があるのか。</p>                       | <p>【総務部長】危険水位看板の場所が変わった点については、確認する。</p>   |
| 総務部   | <p>避難準備、勧告や指示が出た場合、どこに行けば良いのか。町内会に入っていない方も多く、指示系統はどうなっているのか。</p>               | <p>【総務部長】市において気象状況にもとづく、正確な情報を迅速に提供するので、みなさんには安全安心メールやラジオなどで情報を得ていただきたい。今回の山部地区の避難は真夜中であったが、町内会や自主防災組織への連絡、広報車の出動、要支援者や独居老人宅へは個別訪問を行った。地域で話し合っ、災害の際の一次退避場所を確保していただき、要支援者などは市から各対象者宅に出向いていく。市では、住民に避難などの情報を流す際は、必ず避難場所の準備も同時に進め、受け入れる体制を構築している。</p> <p>【市長】民生委員が作成している住民支え合いマップの活用もしていきたい。</p> <p>【副市長】今回桂木地域において避難勧告に関する混乱が生じていたので、今後はそれぞれの町内会に連絡する際は、どこの地域を対象に、どこに避難しているかを連絡するようにしていきたい。</p> |
| 建設水道部 | <p>道路の側溝（排水路）が泥や草で溜まっている状況にある。以前は定期的に清掃していたと思うが、詰まりの原因にもなるので計画的に行う予定はあるのか。</p> | <p>【建設水道部長】道路側溝（排水路）は、以前、家庭雑排水を流していたときは定期的に清掃していたが、下水道整備後は清掃をしていない状況である。パトロールなどは行っているが、地域で気になるところがあれば対応するので、情報を提供していただき</p>   |

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| <p>市民生活部</p> | <p>河川球場が使えない状況であるが、今後の復旧の見通しは。また以前、河川のグラウンドが被害にあったとき、傷口からバイ菌が入ったという話も聞いているが、その対応は。</p>  | <p>たい。</p> <p>【市民生活部長】年度内は、土砂や施設の撤去、土を入れるなどの整備を行う。ただし、グラウンドの芝の部分については、種をまいても養生があり、使用は平成 30 年くらいになる予定。けがによるバイ菌の予防については、消毒をするなどの対応を図りたい。</p>  |
| <p>市民生活部</p> | <p>国で結婚新生活支援事業を今年度から実施しているが、市では取り組む予定はあるのか。子どもをつくるためには、結婚することが重要となるので、国の制度を早い段階で取り入れた方が良いのではないか。</p>  | <p>【市長】国の支援制度の推移をみながら、市として対応するか検討していきたい。当面は出会い総合サポート室による、出会いの創出を優先的に実施していきたい。</p>   |
| <p>総務部</p>   | <p>現在 42 の自主防災組織があるということだが、実際には実態がないのが実情ではないか。防災の意識を高めるためには、実行できるような工夫が必要ではないか。いろいろな災害が想定され、災害によって避難区域の場所や方法が変わってくるので、そういったことも地域で考えていかななくてはいけない。また、停電になった場合に備えて、地域に発電機があると、ある程度の対応ができるのではないか。必要なときに必要のものを使える状況が大事である。</p> | <p>【市長】自主防災組織の活動は、防災訓練などで自らが体験することが重要であり、訓練などは行政からの働きかけが良いのか、連合町内会が自ら行うのが良いのか、来年度に向けて考えていく。富良野市の災害は、金山ダムの増水や北海道河川による災害、山沿いの土砂崩れによる災害、地震による災害があり、それぞれ具体的にどういった対策を講じるかという状況づくりが必要である。また、コミュニティセンターについては、あらゆる状況においても地域住民が集まりやすい地域の重要な拠点である。現在、各地区ごとの指定箇所における電源の確保を進めている。</p> |
| <p>総務部</p>   | <p>田園回帰 1%戦略は、出生率向上、流出率減少、定住数増加を毎年やれば、こうなるというのは数字上の話であり、具体的な施策がないと、この場で提起しても無意味ではないか。若者が働く場所を確保することが大きな課題である。</p>   | <p>【市長】具体的な施策については、企業誘致により若者が働くことのできる場を確保することが必要と考える。また、移住できる状況づくりのため、お試し住宅での体験や家賃助成などを組み合わせることにより、人を増やす取り組みについて検討している。新たな人が来ることで、出会い（結婚）が生まれ、結婚により子</p>  |

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| <p>総務部</p>   | <p>今年は、防災訓練をするのか。話を聞くだけでなく、実際に訓練することが大事である。</p>   | <p>どもが産まれるといった状況になるよう、基本的な部分を整理しながら、今後取り組んでいく。</p> <p>【総務部長】この地域は、自主防災組織は、平成8年・9年に組織化されている。市として防災訓練は、平成17年から平成22年まで関係機関と住民により実施しているが、平成23年の東日本大震災を契機に、命を救ったのは自助であり共助と言われており、防災訓練のあり方が変わってきている。平成24年より、各地域に声かけをし、地域の自主的な防災訓練に対し、行政が支援をしながら実施しているが、手を挙げる地域がない状況もある。</p> |
| <p>総務部</p>   | <p>例年、体育協会として市に対して要望書を提出しているが、一堂に介して市長と話す機会を設けてほしい。</p>                                 | <p>【市長】依頼していただければ、話し合う機会を設ける。</p>   |
| <p>総務部</p>   | <p>南富良野町の災害を教訓に、意識の高揚、組織の育成のため、自治体からの働きかけにより、連合町内会や民生委員と連携した防災に対する取り組みを要望する。</p>        | <p>【副市長】要望として受け止める。</p>   |
| <p>保健福祉部</p> | <p>昨年も話をしたが、民生委員を連合町内会長や町内会長に探せと言っても無理である。市職員のOBや過去の民生委員と協力して探すなど、人選に関して今後工夫が必要である。</p> | <p>【副市長】意見として受け止める。</p>   |
| <p>建設水道部</p> | <p>昨年の懇談会で、大宝寺横の交差点で事故が多発していると要望したところ、早速、啓発の看板を設置していただき、これまで事故が発生していないことを報告する。</p>      |   |